

学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する 総合的なガイドライン【概要】

- 少子化が進む中、将来にわたり生徒がスポーツ・文化芸術活動に継続して親しむことができる機会を確保するため、速やかに部活動改革に取り組む必要。その際、生徒の自主的で多様な学びの場であった部活動の教育的意義を継承・発展させ、新しい価値が創出されるようにすることが重要。
- 令和4年夏に取りまとめられた部活動の地域移行に関する検討会議の提言を踏まえ、平成30年に策定した「運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」及び「文化部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」を統合した上で全面的に改定。これにより、学校部活動の適正な運営や効率的・効果的な活動の在り方とともに、新たな地域クラブ活動を整備するために必要な対応について、国の考え方を提示。
- 部活動の地域移行に当たっては、「地域の子供たちは、学校を含めた地域で育てる。」という意識の下、生徒の望ましい成長を保障できるよう、地域の持続可能で多様な環境を一体的に整備。地域の実情に応じ生徒のスポーツ・文化芸術活動の最適化を図り、体験格差を解消することが重要。

※Ⅰは中学生を主な対象とし、高校生も原則適用。Ⅱ～Ⅳは公立中学校の生徒を主な対象とし、高校や私学は実情に応じて取り組むことが望ましい。

Ⅰ 学校部活動

教育課程外の活動である学校部活動について、実施する場合の適正な運営等の在り方を、従来のガイドラインの内容を踏まえつつ示す。

(主な内容)

- ・教師の部活動への関与について、法令等に基づき業務改善や勤務管理
- ・部活動指導員や外部指導者を確保
- ・心身の健康管理・事故防止の徹底、体罰・ハラスメントの根絶の徹底
- ・週当たり2日以上以上の休養日の設定（平日1日、週末1日）
- ・部活動に強制的に加入させることがないようにする
- ・地方公共団体等は、スポーツ・文化芸術団体との連携や保護者等の協力の下、学校と地域が協働・融合した形で環境整備を進める

Ⅱ 新たな地域クラブ活動

学校部活動の維持が困難となる前に、学校と地域との連携・協働により生徒の活動の場として整備すべき新たな地域クラブ活動の在り方を示す。

(主な内容)

- ・地域クラブ活動の運営団体・実施主体の整備充実
- ・地域スポーツ・文化振興担当部署や学校担当部署、関係団体、学校等の関係者を集めた協議会などの体制の整備
- ・指導者資格等による質の高い指導者の確保と、都道府県等による人材バンクの整備、意欲ある教師等の円滑な兼職兼業
- ・競技志向の活動だけでなく、複数の運動種目・文化芸術分野など、生徒の志向等に適したプログラムの確保
- ・休日のみ活動をする場合も、原則として1日の休養日を設定
- ・公共施設を地域クラブ活動で使用する際の負担軽減・円滑な利用促進
- ・困窮家庭への支援

Ⅲ 学校部活動の地域連携や 地域クラブ活動への移行に向けた環境整備

新たなスポーツ・文化芸術環境の整備に当たり、多くの関係者が連携・協働して段階的・計画的に取り組むため、その進め方等について示す。

(主な内容)

- ・まずは休日における地域の環境の整備を着実に推進
- ・平日の環境整備はできるところから取り組み、休日の取組の進捗状況等を検証し、更なる改革を推進
- ・①市区町村が運営団体となる体制や、②地域の多様な運営団体が取り組む体制など、段階的な体制の整備を進める
※地域クラブ活動が困難な場合、合同部活動の導入や、部活動指導員等により機会を確保
- ・令和5年度から令和7年度までの3年間を改革推進期間として地域連携・地域移行に取り組みつつ、地域の実情に応じて可能な限り早期の実現を目指す
- ・都道府県及び市区町村は、方針・取組内容・スケジュール等を周知

Ⅳ 大会等の在り方の見直し

学校部活動の参加者だけでなく、地域クラブ活動の参加者のニーズ等に応じた大会等の運営の在り方を示す。

(主な内容)

- ・大会参加資格を、地域クラブ活動の会員等も参加できるよう見直し
※日本中体連は令和5年度から大会への参加を承認、その着実な実施
- ・できるだけ教師が引率しない体制の整備、運営に係る適正な人員確保
- ・全国大会の在り方の見直し（開催回数精選、複数の活動を経験したい生徒等のニーズに対応した機会を設ける等）

中学校部活動に関するアンケート【対象:小学校、小4～小6】

鯖江市

※先生方へ:下記の説明をしていただきながら回答するようにしてください

中学校では放課後と休日に部活動が行われています。

学校の部活動以外にも地域クラブに入り活動している中学生もいます。

みなさんが中学校に入り、放課後や休日にどんなことがしたいのか聞きたいと思います。

【部活動って何?】

- ・学校の方針により活動(活動場所は主に学校)
- ・放課後や休日にスポーツや文化などに親しむ場
- ・豊かな中学校生活を送りながら成長する場
- ・クラスとは違い、ちがった学年の人や同級生、先生と関わり、同じ目的や目標を持ち、交流ができる場
- ・大会やコンクールに参加し、達成感を得る場

【部活動や地域クラブをすると何か良いの?】

- ・様々な人との交流により、他の人との関係や集団生活をうまくやっていく力が付きます
- ・自分で判断できる力がつきます
- ・中学校生活をより楽しく送れるようになります
- ・体力の向上や健康的な生活が送れるようになります
- ・自分の可能性を広げることができます

【部活動と地域クラブの違いって何?】

- ・クラブの方針により活動(活動場所は放課後や休日に地域クラブが指定した場所)
- ・あとは部活動とほぼ同じです

先生方へ【調査について】

- ・児童にとってどのような活動がしたいのか回答させてください。
- ・回答結果は、各学校にお知らせします。
- ・回答方法 右記URLまたはQRコードから回答フォームにアクセスし回答
- ・回答期間 令和4年12月16日(金)～1月18日(水)

URL: <https://logoform.jp/form/qBnA/187892>



中学校部活動に関するアンケート【対象:中学校、中1～中2生徒】

鯖江市

【はじめに】

国では、中学校部活動に関して以下のように進めることを決めました。

- 休日の中学校部活動を地域に移行(令和5年度～令和7年度を改革集中期間) ※平日は学校部活動
- 令和8年度から完全実施(進捗状況を検証し、更に改革)

【背景】

- ・今後、生徒数が減少し、先生も減少することで指導する先生が減少する
- ・学校では、生徒が加入している部活動を減らせない
- ・専門的な指導ができる先生ばかりではない

【地域移行すると何がかわるの?】

- ・指導者は、地域の方や指導を希望する先生
- ・指導者は学校部活動と連携し、専門的な指導をしてくれる
- ・地域の様々な人との交流で、社会性が向上する
- ・クラブ活動に必要な費用が生じる

【鯖江市では】

・鯖江市は、原則、平日と変わらない会場や市の施設を活用して活動できるよう、市内3中学校区あるスポーツクラブ(さばえスポーツクラブ、鯖江北コミュニティスポーツクラブ、東陽スポーツクラブ)に依頼していきたいと考えています。

【調査について】

- ・部活動に関する意識調査です。休日の活動に関して回答してください。
- ・回答結果は、来年度からの改革集中期間での活動の参考にさせていただきます。
- ・回答方法 右記URLまたはQRコードから回答フォームにアクセスし回答
- ・回答期間 令和4年12月16日(金)～1月18日(水)

URL: <https://logoform.jp/form/qBnA/191974>



中学校部活動に関するアンケート【対象:小学校、小4～小6保護者】

鯖江市

【はじめに】

国では、中学校部活動に関して以下のように進めると提言をまとめました。

- 休日の中学校部活動を地域に移行(令和5年度～令和7年度を改革集中期間) ※平日は学校部活動
- 令和8年度から完全実施(進捗状況を検証し、更に改革)

【背景】

- ・少子化、教員数減
- ・多様化する子どもたちのニーズへの対応
- ・学校では部活動数が減らせない
- ・子どもたちのスポーツ環境等を変えることも必要
- ・学校部活動は教育課程外(先生方の本務ではない)
- ・先生方の長時間勤務、専門性、異動等による問題

【地域移行により目指すもの・変わる点】

- ・地域が主体となり、持続可能な地域部活動の実現
- ・多様化に対応(多様なレベル、多世代との交流等)
- ・生涯スポーツに親しむことができる、より良い環境を整備
- ・平日の部活動も地域移行を視野に入れた活動
- ・指導者は、地域の方や指導を希望する先生

【鯖江市では】

・鯖江市は、原則、平日と変わらない会場や市の施設を活用して活動できるよう、市内3中学校区あるスポーツクラブ(さばえスポーツクラブ、鯖江北コミュニティスポーツクラブ、東陽スポーツクラブ)に依頼していきたいと考えています。

【調査について】

- ・部活動に関する意識調査です。お子様が中学校に入学してからのことを想定し、回答してください。
- ・回答結果は、来年度からの改革集中期間での活動の参考にさせていただきます。
- ・回答方法 右記URLまたはQRコードから回答フォームにアクセスし回答
- ・回答期間 令和4年12月16日(金)～1月18日(水)

URL: <https://logoform.jp/form/qBnA/191684>



中学校部活動に関するアンケート【対象:中学校、中1～中2保護者】

鯖江市

【はじめに】

国では、中学校部活動に関して以下のように進めると提言をまとめました。

- 休日の中学校部活動を地域に移行(令和5年度～令和7年度を改革集中期間) ※平日は学校部活動
- 令和8年度から完全実施(進捗状況を検証し、更に改革)

【背景】

- ・少子化、教員数減
- ・多様化する子どもたちのニーズへの対応
- ・学校では部活動数が減らせない
- ・子どもたちのスポーツ環境等を変えることも必要
- ・学校部活動は教育課程外(先生方の本務ではない)
- ・先生方の長時間勤務、専門性、異動等による問題

【地域移行により目指すもの・変わる点】

- ・地域が主体となり、持続可能な地域部活動の実現
- ・多様化に対応(多様なレベル、多世代との交流等)
- ・生涯スポーツに親しむことができる、より良い環境を整備
- ・平日の部活動も地域移行を視野に入れた活動
- ・指導者は、地域の方や指導を希望する先生
- ・指導者への謝金など、受益者負担となる

【鯖江市では】

・鯖江市は、原則、平日と変わらない会場や市の施設を活用して活動できるよう、市内3中学校区あるスポーツクラブ(さばえスポーツクラブ、鯖江北コミュニティスポーツクラブ、東陽スポーツクラブ)に依頼していきたいと考えています。

【調査について】

- ・部活動に関する意識調査です。お子様にとってどのような活動がよいのかを想定し、回答してください。
- ・回答結果は、来年度からの改革集中期間での活動の参考にさせていただきます。
- ・回答方法 右記URLまたはQRコードから回答フォームにアクセスし回答
- ・回答期間 令和4年12月16日(金)～1月18日(水)

URL: <https://logoform.jp/form/qBnA/191994>

